履修系統図（カリキュラム・ツリー）

社会学部
現代社会学科
2018年度入学者

1年		2年		3年		4年	
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ

領域の目標

1群 基幹科目群

日本語力、思考力、論述力と情報活用能力を合わ

- アカデミック・スキル演習Ⅰ → アカデミック・スキル演習Ⅱ

・社会で通用する外国語運用能力を身につける。 — 語学系

- 英語Ⅰ（表現） → 英語Ⅱ（多読）
- 英語Ⅲ
- 英語Ⅳ
- Intensive English Ⅰ → Intensive English Ⅱ → Intensive English Ⅲ → Intensive English Ⅳ
- ニュージーランド研修英語 → Step-Up English
- 語学研修A — スカラシップ — 語学研修B
- 長期海外研修A → 長期海外研修B
- 韓国語Ⅰ → 韓国語Ⅱ
- 中国語Ⅰ → 中国語Ⅱ
- フランス語Ⅰ → フランス語Ⅱ → フランス語Ⅲ → フランス語Ⅳ
- 日本語Ⅰ / 日本語Ⅲ → 日本語Ⅱ / 日本語Ⅳ → 日本語Ⅴ / 日本語Ⅶ → 日本語Ⅵ / 日本語Ⅷ

・価値観の形成、および行動力の形成に役立つ「広い意味の教養」の獲得。

- 基礎学問系
  - 法学概論
  - 社会学概論Ⅰ → 社会学概論Ⅱ
  - 経済学概論
  - 政治学概論
  - 自然科学概論
  - 人文地理学概論
  - 生物学概論
  - 自然地理学概論
  - 科学史概論
  - 哲学概論
  - 日本思想史概論
  - 日本史学概論
  - 視覚芸術論
  - 外国史学概論
- 現代日本理解系
  - 日本国憲法
  - 国際社会と日本

・調査技法・データ分析技法 — 社会調査系

- 社会調査法Ⅰ → 社会調査法Ⅱ
- 社会統計学Ⅰ → 社会統計学Ⅱ
- 社会調査演習

・個人や文化の多様性を認め、諸文化に対する関心を深めて見 — 多文化理解系

- アジア・オセアニアの文化
- 海外体験研修A
- 異文化理解研修
- 多文化理解 → 異文化コミュニケーション
- 海外体験研修B

情報活用能力の獲得。 — 情報系

- 情報社会とメディア
- 情報活用論
- 情報活用演習

人間力向上科目群

・価値観の形成、および行動力の形成に役立つ「広い意味の教養」の獲得。

- 健康・スポーツ系
  - 健康・スポーツ科学 → 健康・スポーツ科学演習
- 地域連携系
  - 地域ボランティアプログラムA → 地域ボランティアプログラムB → 地域ボランティアプログラムC
- 文学系
  - 文学基礎論Ⅰ → 文学基礎論Ⅱ
- 人間学系
  - 人間学演習Ⅰ → 人間学演習Ⅱ

就職資格科目群

社会から求められる力を養成する。 — キャリア系

- 国語表現Ⅰ → 国語表現Ⅱ
- キャリアデザイン・基礎 → キャリアデザイン・応用Ⅰ → キャリアデザイン・応用Ⅱ → キャリアデザイン・総合Ⅰ → キャリアデザイン・総合Ⅱ
- インターンシップ

・国家資格取得に求められる力を養成する。 — 国家資格系

- 教師論
- 教育学概論
- 教育制度論
- 教育心理学
- 古典文学鑑賞
- 日本文学史
- 書道
- 現代文学鑑賞
- 漢文
- 規聴覚教育メディア論
- 情報リテラシー
- 生涯学習論Ⅰ → 生涯学習論Ⅱ
- 教育課程論
- 道徳教育の指導法
- 教職基礎演習
- 国語科教育法Ⅰ → 国語科教育法Ⅱ
- 文学総合演習
- 古典文学講読
- 教育方法学
- 生徒指導論
- 社会科教育法Ⅰ → 社会科教育法Ⅱ
- 英語科教育法Ⅰ → 英語科教育法Ⅱ
- 特別活動論
- 進路指導論
- 教職総合演習
- 国語科教育法Ⅲ → 国語科教育法Ⅳ
- 社会科・公民科教育法Ⅰ → 社会科・公民科教育法Ⅱ
- 英語科教育法Ⅲ → 英語科教育法Ⅳ
- 情報科教育法Ⅰ → 情報科教育法Ⅱ
- 教育相談
- ボランティア論
- 教育実習（事前・事後指導）
- 教育実習Ⅰ → 教育実習Ⅱ
- 教職実践演習（中・高）
- 博物館経営論
- 博物館資料論 → 博物館資料保存論
- 博物館情報・メディア論
- 博物館展示論
- 博物館概論
- 博物館教育論
- 博物館学実習Ⅰ → 博物館学実習Ⅱ

2・3群

現代社会にまつわる基礎的な知識を身につける

- 現代社会論
- フィールドワーク論
- 高齢社会論

選択必修科目

- 文化人類学概論
- 文化財概論
- 観光概論
- スポーツマネジメント論
- 民俗学
- レジャー社会学
- 都市アメニティ論
- 国立公園論
- 都市デザイン論

文化人類学の目で、発見力、独創力、調査力を持ち、人と社会の生き方の知恵を提案できる力を身につける。文化多様性を見据え、固定概念にとらわれない独創性のあるグローバル人材を育成する。

- 文化人類学原論
- ファッションの人類学
- スポーツ人類学
- 多文化理解
- フィールドワーク論
- 音楽人類学
- 妖怪と怪異の民俗学
- 福祉・医療人類学
- 子どもと子育ての人類学
- 観光社会学
- 神話・伝説研究
- 民俗宗教論
- 生き方の人類学
- 家族と女性の人類学
- イベントの人類学
- 異文化コミュニケーション
- ライフヒストリー
- 貧困と開発の人類学

地域や人々が、快適、安全、そして生き生きと元気よく生きられる地域社会のデザインに活躍できる力を身につける。地域の魅力の発見、充実した時間や独自体験の創出、人生とくらし、地域を豊かにする方策の探求、企画立案からイベントや施策の実施など、体験を重視した実学的教育を行う。

- 観光まちづくり論
- コミュニティ論
- 歴史景観の保全
- 総合旅行講座Ⅰ → 総合旅行講座Ⅱ
- 地域経営論
- 市役所と住民
- 地域活性化論
- 観光心理学
- 観光地理学
- 観光ビジネス論
- 鉄道・交通論
- ホスピタリティ論
- 観光社会学
- 世界遺産論
- クリエイティブツーリズム論
- 観光関連法
- 旅行企画論
- 近代化遺産論
- グローバルツーリズム論

人と自然が共生する社会や、暮らしやすいまちをデザインできる力を身につける。自然・社会・都市など、人間を取り巻く「環境」について多角的なアプローチとともに学び、環境との共生をリードする知識を養成する。

- 環境概論
- 基礎生態学
- 環境コミュニケーション
- 自然遺産論
- 環境と教育
- 水辺環境の保全
- NPO・ナショナルトラスト論
- 環境と心理
- 環境と政治学
- 環境学リーディング
- インタープリテーション論
- 緑地と造園
- 里地里海保全論
- 環境学ライティング
- 環境と倫理
- 環境と経済
- 環境特論

世界遺産や文化財などを通して、文化や歴史について理解する。遺跡や文化財、史資料について調査し、意匠、技法、素材、歴史、思想などを研究し、過去と現在を結び付け、その貴重な情報を未来へとつなぐ人材を育成する。

- 文化遺産論
- アートマネジメント論
- 世界遺産論
- 文化財特論
- 文化財演習Ⅰ → 文化財演習Ⅱ
- 美術工芸研究Ⅰ → 美術工芸研究Ⅱ
- 考古学Ⅰ → 考古学Ⅱ
- 美術工芸と地域社会
- 文化財の保存と活用

人生と生活を豊かにするレジャーとスポーツをマネジメントする方法を理解する。常に変化する現代社会を様々な視点でとらえ、持続可能な豊かさについて考え、未来をつくるテクニックを習得する。

- レジャー産業論
- アートマネジメント論
- スポーツ人類学
- 地域経営論
- レジャー・カウンセリング
- スポーツ文化論
- 生き方の人類学
- クリエイティブツーリズム論
- 観光地理学
- ホスピタリティ論
- 地域活性化論
- スポーツマーケティング論
- フットボール学

・ゼミ・演習・実習等を通じて、問題発見・解決能力を身につける

- 基礎ゼミナール → 現代社会基礎
- 現代社会・フィールド研修
- 現代社会演習(4)
- 現代社会実習(2)
- 現代社会専門研修
- 海外専門研修(4)
- 専門ゼミナール(4)
- 現代社会応用演習Ⅰ → 現代社会応用演習Ⅱ
- 卒業研究(4)